

令和6年度当初予算

主要事業概要

(1事業1ペーパー)

安 城 市

※本資料の記載内容は予算編成時点の計画であり、事業内容に変更が生じる場合があります。

目

次

区分	事業名	担当課	頁
新規	議場等音響設備修繕事業 	議事課	1
新規	結婚支援事業 	企画政策課	2
継続	デジタルコンテンツ活用推進事業  	企画政策課	3
継続	公民連携事業   	企画政策課	4
新規	三河安城交流拠点推進事業   	企画政策課	5
拡充	DX推進事業   	デジタル推進課	6
新規	庁舎整備基本構想策定事業   	資産経営課	7
拡充	市民協働推進事業 	市民協働課	8
継続	防犯設備支援事業  	市民安全課	9
新規	手話言語理解促進事業  	障害福祉課	10

区分	事業名	担当課	頁
拡充	子ども医療費助成事業   	国保年金課	11
拡充	子ども養育支援事業  	子育て支援課	12
拡充	児童手当支給事務 	子育て支援課	13
拡充	第2子以降低年齢児保育無償化事業  	保育課	14
拡充	産後ケア事業 	健康推進課	15
拡充	不妊治療支援事業 	健康推進課	16
継続	プラスチック資源再商品化 (プラスチック資源一括回収)事業  	ごみ資源循環課	17
拡充	カーボンニュートラル推進事業   	環境都市推進課	18
新規	公共施設照明設備LED化事業   	環境都市推進課	19
継続	農畜産物特産品事業  	農務課	20

※本資料の記載内容は予算編成時点の計画であり、事業内容に変更が生じる場合があります。

目

次

区分	事業名	担当課	頁
継続	がんばる中小企業応援事業   	商工課	21
継続	大型商業施設周辺交通対策事業   	維持管理課 土木課	22
継続	主要道路新設改良事業 (姫小川・藤井線・居林橋)   	土木課	23
継続	名鉄西尾線池浦篠目線他 鉄道立体交差事業  	土木課	24
拡充	雨水マスタープラン推進事業   	土木課	25
新規	新城駅周辺まちづくり事業   	都市計画課	26
新規	地区公園基本構想策定事業  	公園緑地課	27
継続	南明治第一土地区画整理事業   	区画整理課	28
継続	地区防災計画策定支援事業  	危機管理課	29
拡充	スクールアシスタント事業 	学校教育課	30

区分	事業名	担当課	頁
新規	コミュニティ・スクール推進事業  	学校教育課 生涯学習課	31
継続	小中学校施設改修事業 	教委・総務課	32
継続	本證寺史跡公園整備事業   	文化振興課	33
拡充	ホームチームサポーター事業 シーホース三河応援事業   	スポーツ課	34
継続	小中学校給食費無償化事業 	教委・総務課	35

(新規)	05款	05項	05目	議会費	総合計画：行財政運営		
	議場等音響設備修繕事業				〔令和6年度予算額〕 62,845 千円		議会事務局議事課 議事係 Tel 71-2252



議会運営を円滑に行うために、議場と委員会室の老朽化した音響設備を修繕します。

1 事業概要

議場の音響設備は、既設の設備を流用しつつ、制御部の交換、音響・映像制御システム、発言残時間表示システムの更新などを行います。
委員会室の音響設備は、会議マイクユニット、コントロールユニット・制御部の更新などを行います。また、委員が参集することが困難な場合にオンラインによる方法で委員会を開催することができるよう、必要な機器の対応を行います。

2 実施内容

(1) 議場

- ・音響設備オーバーホール 41,227千円
既設設備の一部(グースネックマイク、スピーカー類等)を流用
制御部の交換、音響・映像制御システム、発言残時間表示システムの更新 など



議場演壇マイク(一体型ユニット)



音響・映像システム(操作画面)



発言残時間表示盤(議場)

(2) 委員会室

- ・音響設備修繕 21,618千円
会議マイクユニット、コントロールユニット・制御部の更新
UIAで実施した実証実験を踏まえた、オンライン委員会への対応 など
(ミキサーアンプ、スピーカーなど)

※UIA…公民連携地域課題解決事業(民間企業との実証実験)

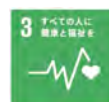


委員会室の音響システム



会議マイクユニット

(新規)	10款	05項	20目	企画費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	結婚支援事業				〔令和6年度予算額〕 24,000 千円	企画部企画政策課 プロジェクト推進室プロジェクト推進係 TEL 71-2285



若い世代が結婚の希望を実現できる環境を整備するため、結婚支援を実施します。

1 結婚新生活支援事業

- (1) 事業概要 これから夫婦として新生活をスタートさせる世帯を対象に、結婚に伴う新生活に係る費用の支援を行います。
- (2) 対象要件 ・令和6年1月1日以降に入籍した世帯
・夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯
・夫婦の所得を合わせて500万円未満の世帯
※過去に他の自治体で本交付金を受給したことがある世帯は対象外
- (3) 対象費用 ・新居の購入費、リフォーム費用
・新居の家賃や敷金・礼金、共益費、仲介手数料など
・新居への引越費用
- (4) 補助上限額 ・夫婦ともに29歳以下の世帯 : 1世帯あたり60万円
・夫婦ともに39歳以下の世帯(上記以外) : 1世帯あたり30万円
- (5) 予算額 21,000千円(財源: 県補助金 10,500千円)



2 縁むすびプロジェクト

- (1) 事業概要 結婚支援イベントや結婚支援セミナー、フォローアップ相談の開催などにより、結婚の希望をかなえるための支援を行います。
- (2) 対象者 市内在住もしくは在勤、または将来安城市に住む意思のある独身者
- (3) 予算額 3,000千円(財源: 県補助金 2,000千円)



(継続)	10款	05項	20目	企画費	総合計画：ちから(子どもを育む確かな「ちから」を蓄える)		
	デジタルコンテンツ活用推進事業				〔令和6年度予算額〕 5,000 千円		企画部企画政策課 企画政策係 TEL 71-2204



デジタルコンテンツを活用し、産学官連携によりデジタル人材の育成を図ります。

1 事業目的

子どもたちがデジタルのメリットを実感し興味を深めるとともに、様々な場面でデジタル技術が活用されていることを知る機会を創出します。

2 事業概要

プロのクリエイターやデジタル技術を活用している民間企業、学生等との連携により、最新のデジタル技術の体験やデジタル技術を活用した現場で働く人の声を聞く場を設けるなど、デジタルによる「学び」にフォーカスしたイベントを開催します。
体験を通じて、デジタルの未来を実感することで、将来のデジタル人材の育成につなげます。

3 事業費

デジタルコンテンツ活用推進事業委託料 5,000千円

令和5年度事業の様子



モーションキャプチャー体験

センサーを付けて身体を動かすとモニターの中のキャラクターが自分と同じ動作をするという、ゲームやアニメで広く使われている技術。



3DCG制作体験

粘土を使って造形の基礎を学び、それを3Dスキャンでパソコンに取り込み、色や模様をつけました。



アクションゲーム制作

プログラミングにより、動く床や障害物など、様々なパーツを使ってアクションゲームを制作。

(継続)	10款	05項	20目	企画費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	公民連携事業 4 質の高い教育を みんなに 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナーシップで 目標を達成しよう				〔令和6年度予算額〕 14,000 千円	企画部企画政策課 公民連携係 Tel 71-2204

持続可能なまちづくり及びSDGsを推進するため、公民連携事業や次世代人材育成を行います。

1 事業概要

「あんじょうSDGs共創パートナー制度」のパートナー企業と連携し、「高校生SDGsインタビュー事業」や「SDGs未来会議」を行い、若者や企業が社会とつながる機会を創ります。
また、行政や地域の課題を企業との実証実験を通して解決方法を探る「公民連携地域課題解決事業」を実施します。

2 事業内容

SDGs共創パートナー事業



高校生SDGsインタビュー事業



公民連携地域課題解決事業



3 令和6年度事業内容と予算

項 目	予算額
SDGs共創パートナー事業	6,000 千円
高校生SDGsインタビュー事業	2,000 千円
公民連携地域課題解決事業	6,000 千円
合計	14,000 千円

(新規)	10款	05項	20目	企画費	総合計画：ちから(子どもを育む確かな「ちから」を蓄える)	
	三河安城交流拠点推進事業				〔令和6年度予算額〕 39,614 千円	企画部企画政策課 プロジェクト推進室プロジェクト推進係 Tel 71-2285



三河安城駅周辺における、三河安城交流拠点を核とする西三河の玄関口に相応しいまちづくりの推進と新たな賑わい創出のため、最適な公民連携手法を導入します。

1 事業概要

- ★本拠点が持つ交流人口・関係人口創出機能に対する国の建設支援を調査するため、「アリーナ建設支援計画作成業務」を実施します。
- ★本拠点が独立採算で運営され、かつ市民の利益が最大化されるようにするため、「包括アドバイザー」、「権利設定適正化検討業務」を実施します。
- ★本拠点と三河安城地域の賑わいを連携して創出するため、「安城市スポーツマーケティング検討業務」を実施します。
- ★本拠点の推進にあたって、最適な公民連携手法を調査・評価するため、「三河安城交流拠点検討審議会」を実施します。



三河安城交流拠点検討審議会の実施風景



2 令和6年度事業内容と予算

項 目	予算額
アリーナ建設支援計画作成業務	7,000 千円
包括アドバイザー	7,000 千円
権利設定適正化検討業務	17,000 千円
安城市スポーツマーケティング検討業務	5,000 千円
三河安城交流拠点検討審議会 ほか	3,614 千円
合計	39,614 千円



本拠点とまちと連携した賑わい創出例

(拡充)	10款	05項	30目	電算管理費	総合計画：ばしよ(子どもを育む安らぎの「ばしよ」を築く)	
	D X 推進事業 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と経済活動の 振興もつくろう 15 暮らしの豊かさも 増やそう				〔令和6年度予算額〕 41,348 千円	企画部デジタル推進課 デジタル推進係 Tel 71-2207

市民サービスの向上や行政事務の効率化推進のため、 デジタルの利活用を図ることによりDXの推進に取り組みます。

市民サービスにおけるデジタル活用

必要な情報を分かりやすく発信し、多様なサービスの展開のため、市公式LINEアカウントの利活用やAIチャットボットの刷新を行います。
また、窓口の利便性の向上のため「リモート窓口」を運用するとともに、各種オンライン手続の拡充を図ります。

事業内容	事業費(千円)
市公式LINEアカウント運用サービス利用	2,244
AIチャットボット運用(リニューアル)	715
リモート窓口システム運用	392
スマート申請・Web口座登録サービス運用	3,620
手続きガイドサービス運用	1,327



リニューアルした市公式LINEアカウント



リモート窓口のブース

業務のDX推進・データの利活用

外部人材の伴走支援を受け、各種業務のDX推進やDX人材育成に取り組むとともに、データの利活用やEBPMを推進します。

事業内容	事業費(千円)
DX推進アドバイザー・DX支援業務委託	5,000
テレワーク・Web会議環境整備	5,671
チャットサービス利用(生成AI利用含む)	6,237
AI-OCR・RPA・手順書作成ツール利用	7,212
DX推進研修実施経費	600
AIカメラ分析業務委託	2,000
オープンデータサイト利用	1,066

デジタル・デバйд対策

誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、各福祉センター等で行っているスマホ講座を継続的に実施します。また、デジタル活用ブックを作成し、市のデジタルサービスの活用促進と周知に取り組みます。

事業内容	事業費(千円)
スマホ講座・相談会の実施	5,000
デジタル活用ブックの作成	264



スマホ講座のチラシ



スマホ講座の様子



デジタル活用ブック

キャッシュレス決済の拡充

市内の公共施設(主に直営施設)の窓口でのキャッシュレス決済を拡充するとともに、納付書のキャッシュレス決済・コンビニ収納への対応を行います。(キャッシュレス決済等対応時期:令和6年10月予定)

対応施設

- ・北部／桜井／明祥支所
- ・へきしんギャラクシープラザ
- ・東祥アリーナ安城
- ・青少年の家
- ・総合斎苑

- ・証明・旅券窓口センター
- ・各地区公民館
- ・スポーツセンター
- ・アンフォーレ2F、3F
- ・有料駐車場(一部)
- ・本庁舎(建築課のみ)

※キャッシュレス決済に関する
予算は各施設の関連事業に
て措置(予算額計21,678千円)



(新規)	10款	05項	55目	資産経営費	総合計画：ばしょ(子どもを育む安らぎの「ばしょ」を築く)		
	庁舎整備基本構想策定事業 9 産業と経済発展の 基盤をつくらね 11 住み続けられる まちをつくらね 13 自然環境に 負けないまちを				〔令和6年度予算額〕	20,562 千円	総務部資産経営課 資産経営係 Tel 71-2210

**防災拠点としての機能を担う市役所庁舎の整備に向けた
基本的な考え方の検討を進めます。**

1 事業概要

現庁舎の課題（①防災拠点強化 ②老朽化、分散化、狭あい化等の解消 など）の解決を目指し、基本的な考え方として基本理念や整備方針などを定めた庁舎整備基本構想を策定します。

令和6年度は、基本的な考え方を検討するため、まず、庁内の協議体を設置するとともに、市民アンケートや市民ワークショップを実施します。

2 事業年度

令和6年度・令和7年度

3 主な事業費

○基本構想策定業務

委託料 20,000千円・債務負担行為 20,000千円（令和7年度分）

○市民ワークショップ

参加者謝礼 180千円・会場使用料 30千円 など

4 検討体制と今後の予定

【令和6年度】 基本的な考え方の検討	【令和7年度】 基本構想の策定
庁内委員会 庁内専門部会 外部委員による審議会（注） 市民アンケート 来庁者アンケート 職員アンケート 市民ワークショップ	継続予定

（注）審議会設置に必要となる手続（補正予算及び条例改正）として、関係する議案を別途議会に提出します。

区分	建設年	階層	延べ面積
本庁舎	昭和41年	地上3階 地下1階	5,203.60㎡
北庁舎	昭和60年	地上7階 地下1階	8,525.39㎡
西庁舎	昭和42年	地上3階	1,252.24㎡
さくら庁舎	昭和48年	地上2階	999.97㎡
食堂棟	昭和57年	地上2階	2,587.54㎡



【本庁舎】



【北庁舎】



【西庁舎】



【さくら庁舎】



【食堂棟】

(拡充)	10款	05項	65目	市民活動費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	市民協働推進事業 				〔令和6年度予算額〕 6,915 千円	市民生活部市民協働課 市民協働係 Tel 71-2218

地域課題解決に向けた対話と試行の場「あんじょう協働リビングラボ」の開催および市民活動補助金制度等の運用により、市民協働によるまちづくりを推進します。

1 事業概要

市民、町内会などの地域団体、市民活動団体、事業者と市が、地域の課題を解決するために、それぞれの特性を活かして補完し合い、協力することを推進していく事業です。

2 主な事業内容及び令和6年度予算額

◆市民活動補助金制度の運用◆

市民協働のまちづくりや地域が抱える諸課題の解決につながるような、幅広い分野の市民活動を支援するための補助金制度です。
安城市市民協働推進基金を原資としています。
市民活動団体の自立的な発展やステップアップを促進し、地域課題解決を目指します。

<対象事業>

市民提案型スタート事業
市民提案型事業
行政協働型事業
協働提案型事業 補助金 3,000千円



◆あんじょう協働リビングラボの開催◆

「あんじょう協働リビングラボ」(リビングラボ: Living(生活空間)とLab(実験場所)を組み合わせた言葉)は、多種多様な人が集まり、対話をする中で掘り起こした行政課題や地域課題の解決策を探り、そこで出たアイデアを試行的な社会実験として実施し、その実験結果を基に、次のアイデアを出し合うといったワークショップです。
あんじょう協働リビングラボ参加者が、仲間と共に市民活動団体として自立したり、リビングラボの運営者となって次の人材を育成するなど、いずれは自身が希望する分野や地域などで活躍し、地域の課題を地域で解決できるようになることを目指します。

ワークショップ・社会実験(各5回程度/年) 委託料 1,650千円

◆ふれあい補償制度の運用◆

安心して地域活動や市民活動を行えるよう、ボランティア活動に対して、怪我や賠償責任を補償する制度です。

賠償保険料 1,500千円



グループワーク



社会実験



社会実験の結果発表

(継続)	10款	05項	70目	市民安全推進費	総合計画：ばしょ(子どもを育む安らぎの「ばしょ」を築く)		
	防犯設備支援事業				〔令和6年度予算額〕 65,559 千円		市民生活部市民安全課 市民安全係 Tel 71-2219



安全・安心なまちづくりの実現のため、犯罪を抑止する対策を講じます。

事業概要

1 防犯灯設置事業

47,239千円

犯罪抑止力をより高めるため、LED防犯灯の管理と設置を行います。

内 訳		基数	予算額
リース料	R1年度開始分	3,398	6,649
	R3年度開始分	1,982	7,379
緊急設置工事費	R6年度設置見込	66	8,500
電気料、維持補修費等			24,711

※既設市直営分を含め合計約9,150基体制を見込んでいます。

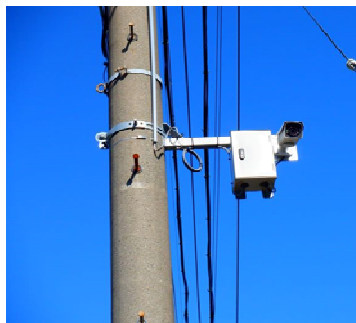
2 防犯カメラ整備事業

5,275千円

現在、200台の街頭防犯カメラを設置していますが、
更なる犯罪の未然防止と事件の早期解決につながるよう、
町内会と協議し、警察とも連携を図りながら、新たに100台を設置します。

内 訳		台数	予算額
リース料、 点検・移設費等	R3年度開始分	100	4,035
	R5年度開始分	100	1,240
	R6年度設置見込	100	

※R6年度設置分についてはR7年度から支払いが発生します。



3 特殊詐欺対策装置購入費補助金

3,500千円

増加する高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を図るため、
特殊詐欺対策装置の購入に補助金を交付します。

(1) 補助対象者

65歳以上の方が住む世帯構成員

(2) 補助内容

特殊詐欺対策機能(通話録音機能又は着信拒否機能)付き
固定電話機または固定電話機に取り付ける特殊詐欺対策装置の
購入費に対し2分の1(上限額7,000円)の補助金を交付します。

4 防犯用具購入費補助金

6,000千円

住宅対象侵入盗及び自動車盗への対策のため、
自家用の防犯用具の購入及び設置費用の一部を補助します。

(1) 補助対象者

安城市内に住所を有する個人(1世帯1回)

(2) 補助内容

自宅及び自家用自動車に施した防犯対策のうち、
補助対象となる防犯対策の実施に要した購入費・設置費に対し
2分の1(上限額16,000円)の補助金を交付します。



(新規)	15款	05項	10目	障害者福祉費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	手話言語理解促進事業 3 すべての人に 理解と敬意を 10 人や国の多様性 をなくさず				〔令和6年度予算額〕 415 千円	福祉部障害福祉課 障害福祉係 Tel 71-2225

**手話は言語であると認識し、理解を深めることで、すべての市民が地域の一員として相互に理解を深め、
わかり合い、認め合い、支え合う地域共生社会の実現に寄与することを目指します。**

1 事業概要

令和6年4月1日施行(令和6年3月市議会上程)の安城市手話言語条例の制定に伴い、手話への正しい理解を広げるとともに、手話を主たる言語として使用する市民があらゆる分野の活動に参加し、手話を使うことができる地域共生社会の実現を目指します。

2 主な事業内容

(1)手話言語条例制定記念講演会の開催

項 目	予算額	備 考
報償費等	123千円	講師謝礼(交通費含む)
印刷製本費	54千円	チラシ作成
使用料及び賃借料	61千円	会場使用料
計	238千円	

(2)教職員に対する手話研修の開催

項 目	予算額	備 考
報償費	72千円	講師謝礼
消耗品費	93千円	研修用パンフレット購入
計	165千円	

(3)広報あんじょうでの手話コーナー、手話動画の掲載

項 目	予算額	備 考
報償費	12千円	出演謝礼
計	12千円	

手 話

を覚えよう



「アイラブユー」を表現しているサルビー

「おはよう」



「こんにちは」



「こんばんは」



「ありがとう」



みんなもやってみよう！



(拡充)	15款	05項	15目	福祉医療費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)		
	子ども医療費助成事業 				〔令和6年度予算額〕	1,117,735 千円	福祉部国保年金課 医療係 Tel 71-2232

**通院に係る保険診療の医療費自己負担分への助成を拡大し、
高校生世代である18歳年度末までの医療費の無償化を行います。**

- 1 事業概要
子ども医療費の自己負担分を助成しています。

	現在			令和6年4月診療分から	
	中学生まで	高校生世代		中学生まで	高校生世代
通院費	◎	×	➡	◎	◎
入院費	◎	○		◎	◎

◎：助成あり(窓口支払なし)
○：助成あり(窓口支払あり、申請後助成)
×：助成なし

- 2 実施時期
令和6年4月1日

- 3 高校生世代の人数
約5,500人

- 4 助成方法
原則、現物給付方式による助成(医療機関の窓口での自己負担なし)



5 事業予算額

(千円)

項 目	予算額	(うち高校生拡大分)	備 考
扶助費	1,100,000	100,000	医療費助成
役務費	17,708	1,155	医療費事務手数料等
その他	27	-	印刷製本費
合計	1,117,735	101,155	

(拡充)	15款	10項	05目	児童福祉総務費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	子ども養育支援事業  				〔令和6年度予算額〕 6,780 千円	子育て健康部子育て支援課 児童家庭係 Tel 71-2272

**ヘルパー派遣の対象に、新たにヤングケアラーを追加します。
児童の養育が一時的に困難となった場合の預け先に、里親を追加します。**

1 主な事業概要 【子育て世帯訪問支援事業】

従来の家事支援の対象者(多胎児や要支援家庭等)に加え、新たにヤングケアラーを支援するため、ヘルパーを派遣し、家事や育児を行うことで子どもの負担軽減を図ります。

【子育て短期支援事業】

保護者が疾病、出産及び冠婚葬祭等の事由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合の預け先に、乳児院や児童養護施設の児童福祉施設に加えて、新たに里親を追加します。

2 令和6年度予算内容

●家事等支援ヘルパー派遣委託料

予算額(千円)	3,203
---------	-------

●子育て短期支援事業委託料

予算額(千円)	373
---------	-----

●里親制度研修会講師料

予算額(千円)	23
---------	----

など

3 里親委託のメリット

- ・地域の子育て支援の資源としての活用
- ・温かい家庭環境の中での養育
- ・研修を受け、フォロー体制が整った里親の活用
- ・委託期間中の通園・通学が可能
- ・保護者の負担軽減



【ヤングケアラーとは？】

本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

(出典:こども家庭庁ホームページ 参照 令和6年1月18日)

(拡充)	15款	10項	10目	児童措置費	総合計画: しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)		
	児童手当支給事務 				〔令和6年度予算額〕	3,620,000 千円	子育て健康部子育て支援課 子育て支援係 Tel 71-2227

少子化対策として、児童手当の対象者を拡大し、金額を一部増額します。

1 事業概要

令和6年10月分より、国の「こども未来戦略」に基づき少子化対策として、児童手当の所得制限の撤廃、高校生世代までの支給延長、第3子以降の支給額の増額をします。

2 変更内容

【現行の児童手当】 (月額)
支給月 (3回: 6月・10月・2月)

第1・2子		第3子以降※	
3歳未満	15,000円 (約3,500人)	3歳未満	15,000円 (約1,600人)
小学生	10,000円 (約15,000人)	小学生	
中学生		中学生	10,000円 (約150人)
高校生世代	0円	高校生世代	0円
所得制限	家族構成に応じ、一定の所得以上の対象者に対し5,000円(約2,000人)を支給または支給なし		
合計人数	約22,250人		

※「第3子以降」には、第1子が高校生世代(18歳年度末)までの場合が該当

【拡充後の児童手当】 (月額)
支給月 (6回: 偶数月)

第1・2子		第3子以降※	
3歳未満	15,000円 (約3,400人)	3歳未満	30,000円 (約3,700人)
小学生	10,000円 (約18,700人)	小学生	
中学生		中学生	
高校生世代	10,000円 (約5,400人)	高校生世代	
所得制限	なし		
合計人数	約31,200人		

※「第3子以降」には、第1子が大学生世代(22歳年度末)までで、親等の経済的負担がある場合が該当



(令和6年10月分～)

3 給付変更時期

令和6年12月支給分より

4 財源

種別	予算額
国費	2,455,420千円
県費	582,290千円
市費	582,290千円
計	3,620,000千円

(拡充)	15款	10項	15目	保育園費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)		
	第2子以降低年齢児保育無償化事業				〔令和6年度予算額〕 200,000 千円		子育て健康部保育課 入園係 Tel 71-2228

より一層安心して子育てができるよう、第1子の年齢や入園の有無、世帯の所得に関わらず、同一世帯の子の中で第2子以降の低年齢児の保育料を無償化します。

1 概要

低年齢児(0～2歳児)の保育料について、現行の軽減制度を見直し、新たな制度として「同一世帯の子の中で第2子以降を無償」とします。

＜現行の軽減制度＞

- ・同一世帯の「18歳未満」の子の中で、第3子以降は無償
- ・同一世帯から「同時に入園」している子の中で、第2子は半額 等

2 対象児童

第1子の年齢や入園の有無、世帯の所得に関わらず、次のいずれにも該当する児童

- ・安城市在住であること
- ・保護者が共働き等で保育が必要と認められること
- ・同一世帯の子(別世帯の子でも課税資料等により扶養されていることが確認できた場合は、同一世帯の子とみなします。)の中で第2子以降であること

3 対象施設

保育園(認可保育所)、認定こども園、(国の定める基準を満たす)認可外保育施設

4 実施時期

令和6年4月分の保育料から

5 予算額の内訳

施設種類	利用時の保育料	無償化に伴う対応	予算額
保育園	市が徴収		135,000 千円／年 【歳入減】
認定こども園	各施設が徴収	施設の減収分を市から各施設に給付	40,000 千円／年 【歳出増】
認可外保育施設	各施設が徴収	市から各保護者に償還払いにより給付	25,000 千円／年 【歳出増】



(拡充)	20款	05項	40目	母子保健費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	産後ケア事業				〔令和6年度予算額〕 3,300 千円	子育て健康部健康推進課 保健指導係 Tel 76-1133



**支援が必要な産後の母子が、医療機関等で専門職からケアを受けることで、
母親の身体的回復と心理的な安定を促進するよう支援します。**

- 1 事業概要 医療機関等で、母親が休息を取ったり、授乳指導や赤ちゃんの沐浴指導等を受けながら助産師等が相談に応じることで、健やかな育児ができるよう支援します。
また、令和6年度から新たに訪問型(助産師が自宅を訪問しケアを実施)をメニューに加え、より一層利用しやすい環境を整えます。

2 事業内容

- (1)短期入所型(宿泊型)…日帰り型と合わせて最大7日利用できます。
ゆっくりと休息が取れ、助産師等から十分なケアを受けることができます。
- (2)通所型
- ①日帰り型(6時間程度)…最大7日利用できます。
日中支援者がいない場合の利用や、育児全般について相談ができます。
- ②日帰り短時間型(2時間程度)…利用は1回のみです。
産後に多い授乳についての悩みや育児のポイントを、ケアを受けながら相談ができます。
- (3)訪問型(2時間程度)※令和6年度からの新規事業…利用は1回のみです。
助産師が自宅に訪問し、ケアを受けながら相談ができます。



3 対象者 産後1年以内の母子

4 利用状況

()内は実数

年度	R1	R2	R3	R4	R5.12月まで
延べ利用人数(人)	10(10)	16(16)	32(32)	117(110)	155(138)
延べ利用日数(日)	44	66	127	184	211
うち宿泊型	44	64	123	91	82
うち日帰り型	未実施	2	4	8	16
うち日帰り短時間型	未実施	未実施	未実施	85	113

5 予算額 委託料 3,300千円

(拡充)	20款	05項	40目	母子保健費	総合計画：しくみ(子どもを育む優しい「しくみ」をつくる)	
	不妊治療支援事業 				〔令和6年度予算額〕 40,010 千円	子育て健康部健康推進課 健診係 TEL 76-1133

**不妊に悩んでいる夫婦(事実婚を含む、夫または43歳未満の妻が対象)に対し
経済的な負担を軽減するため、不妊治療費の一部を助成します。**

1 事業概要 不妊検査、治療の効果を確認するための検査、人工授精などの一般不妊治療に対する費用助成を拡充します。
さらに、令和6年度から体外受精、顕微授精などの生殖補助医療に対する費用助成を開始します。

2 事業内容

(1)一般不妊治療(拡充)

- ・治療の内容：不妊検査、人工授精など(保険適用内・外は問わない)
- ・助成率：自己負担額の2分の1
- ・助成上限額：10万円／年度(令和5年度までは5万円／年度)

(2)生殖補助医療(新規)

- ・治療の内容：体外受精、顕微授精、男性不妊の手術など(保険適用内のみ)
- ・助成率：自己負担額の2分の1
- ・助成上限額：20万円／クール(※)

(※)1クール：採卵(以前に凍結した胚による胚移植を含む)から妊娠確認まで

3 対象者 ①法律上のご夫婦でどちらかが安城市に住民登録のある方
②安城市に住民登録があり、同一世帯で事実上婚姻関係にある男女
※いずれも、女性の年齢が43歳未満であること。

4 予算額 扶助費 40,000千円
消耗品費 10千円



(継続)	20款	10項	10目	塵芥処理費	総合計画：ばしょ(子どもを育む安らぎの「ばしょ」を築く)		
	プラスチック資源再商品化 (プラスチック資源一括回収)事業  				〔令和6年度予算額〕	118,000 千円	環境部ごみ資源循環課 事業係 Tel 76-3053

**家庭から排出されるプラスチックごみを「資源」として一括回収することで、
ごみ出しの分かりやすさを向上させ、プラスチック資源リサイクルの推進を図ります。**

1 事業概要

令和6年1月から、家庭から排出されるプラスチック製容器包装とその他のプラスチック製品を指定袋にまとめて出すことが出来るプラスチック資源一括回収を開始しました。

回収したプラスチック資源は、再商品化(リサイクル)事業者により新たなプラスチック製品に生まれ変わります。

プラスチックの資源化により、二酸化炭素の排出等環境負荷の低減、最終処分場の延命化や石油資源の使用量の削減につながります。

2 収集からリサイクルまでの流れ



3 令和6年度予算内容

項目	予算額(千円)	備 考
委託料	100,000	① プラスチック圧縮梱包処理業務
	18,000	② プラスチック再商品化事業
合計	118,000	(収集に関する費用は含みません)